

第15回

支え合って生きていこう
～ どんな社会になればいい?～

講師

木村 裕美

人の人生には、予測できない事態が起こることがあります。病気やケガ、災害、失業などによって、これまでの生活がガラリと変わってしまう可能性は誰にでもあります。これらの事態が起きると予測して備えることができる場合がありますが、新型コロナウイルスの蔓延のように、起きることが予測不能な場合は一人では対応しきれないこともあります。そんなとき、頼りになるのが社会保障です。今回はその仕組みなどについて学習します。さらに、社会の一員として何ができるのかを考え、行動できる力を身につけていきましょう。

◆◆◆ きょうのキーワード ◆◆◆

リスク

命、身体、環境などに望ましくない結果をもたらされる可能性のことを「リスク」といいます。長い人生では、病気やケガをしたり、失業したりする可能性もあります。リスクを回避できるように備えることも大切ですが、自然災害などの避けられないリスクに対しても、発生を想定して被害を最小限にできるような準備を心がけましょう。

自助・共助・公助

「自助」… 個人や家族などが、自らの責任と努力でリスクや問題に対応すること

「共助」… 地域、友人、ボランティアなど、周囲の人々と助け合うこと

「公助」… 国や地方公共団体などによる生活の保障のこと

社会保障

日本国憲法 第25条では、すべての国民に人間として最低限度の生活を保障する、としています。

「生存権」の保障がうたわれた憲法のもと、「社会保障制度」の整備と拡充が進められてきました。社会保障は、個人や家族などの生活でのリスクに対して、社会全体で支えようとする「セーフティ・ネット(安全網)」です。

社会保障には社会保険と公的扶助、社会福祉、公衆衛生があります。日本では主に社会保険料で運営される「社会保険」が社会保障の中心であり、主として税金など公費負担による「社会福祉」が社会保険を補足しています。社会保障をさらに充実させていくためには、利用者である私たちが保険料や税金をしっかりと負担していくことが必要です。

2 社会保障とは？

社会保障制度は、税金が社会保険料の負担は大きいですが、その分、社会保障制度が手厚い「高福祉・高負担」と、リスクに対しては自己責任が原則となるが、その分、税金や社会保険料の負担が小さい「低福祉・低負担」の大きく二つに分けられます。それぞれのメリットとデメリットについて考え、まとめてみましょう。

<高福祉・高負担>

<低福祉・低負担>

3 税金を払う意味

私たちはなぜ税金を納めるのでしょうか？考えたことをまとめてみましょう。

《参考資料》



